

平成30年2月13日(火)
県立教育研究所

平成29年度 奈良県学力向上フォーラム

全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査結果
を踏まえた取組

県教育委員会事務局学校教育課
指導主事 川西 聡弘

平成29年度 学力向上実践研究推進事業

○五條市教育委員会

- ・五條小学校
- ・宇智小学校
- ・牧野小学校
- ・五條中学校

○御所市教育委員会

- ・大正小学校
- ・葛上中学校

○宇陀市教育委員会

- ・榛原小学校
- ・菟田野中学校

平成29年度 学力向上実践研究推進事業

○重点課題

①確かな学力育成のための取組の定着

→教員の授業力の向上

②授業改善における研修体制の構築

→学校全体で行う研修体制の確立

③家庭や地域との連携を図る取組の充実

→家庭学習の推進

〈学校全体で行う研修体制の確立〉

○全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査問題、
調査結果を踏まえた研修

①児童生徒の現状の分析と全教員での情報共有

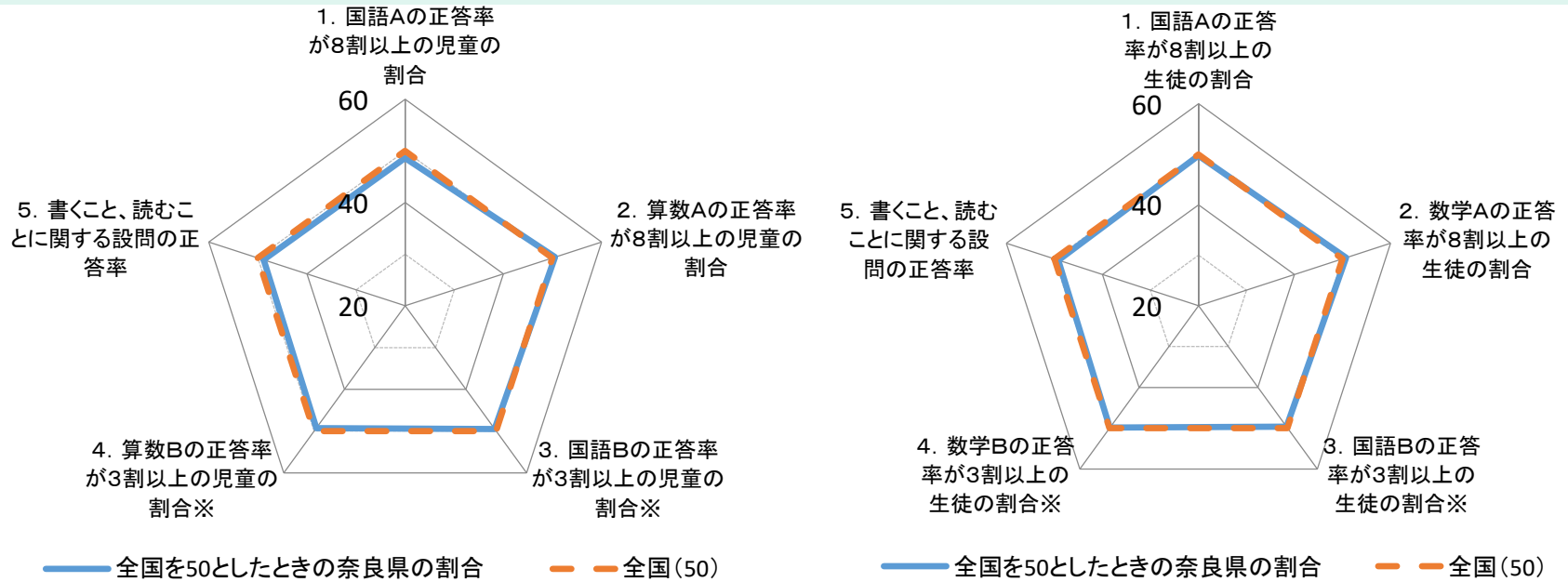
②分析結果を授業でどのように生かすのか
→調査問題について分析する

(出題の趣旨、学習指導要領の領域・内容との関連)

〈学校全体で行う研修体制の確立〉

小学校

中学校



※ 3、4について、グラフでは正答率が3割以上の生徒の割合を示しています。

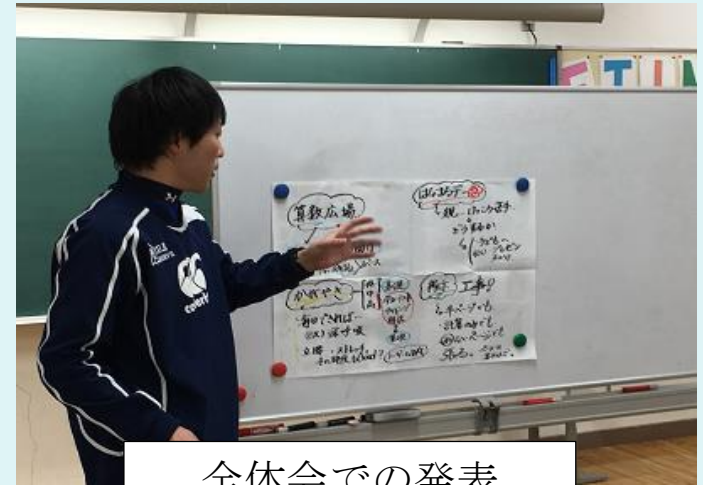
- 1 国語Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 2 算数・数学Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 3 国語Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 4 算数・数学Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 5 書くこと、読むことに関する設問の正答率

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

〈学校全体で行う研修体制の確立〉



各部会での分析・考察



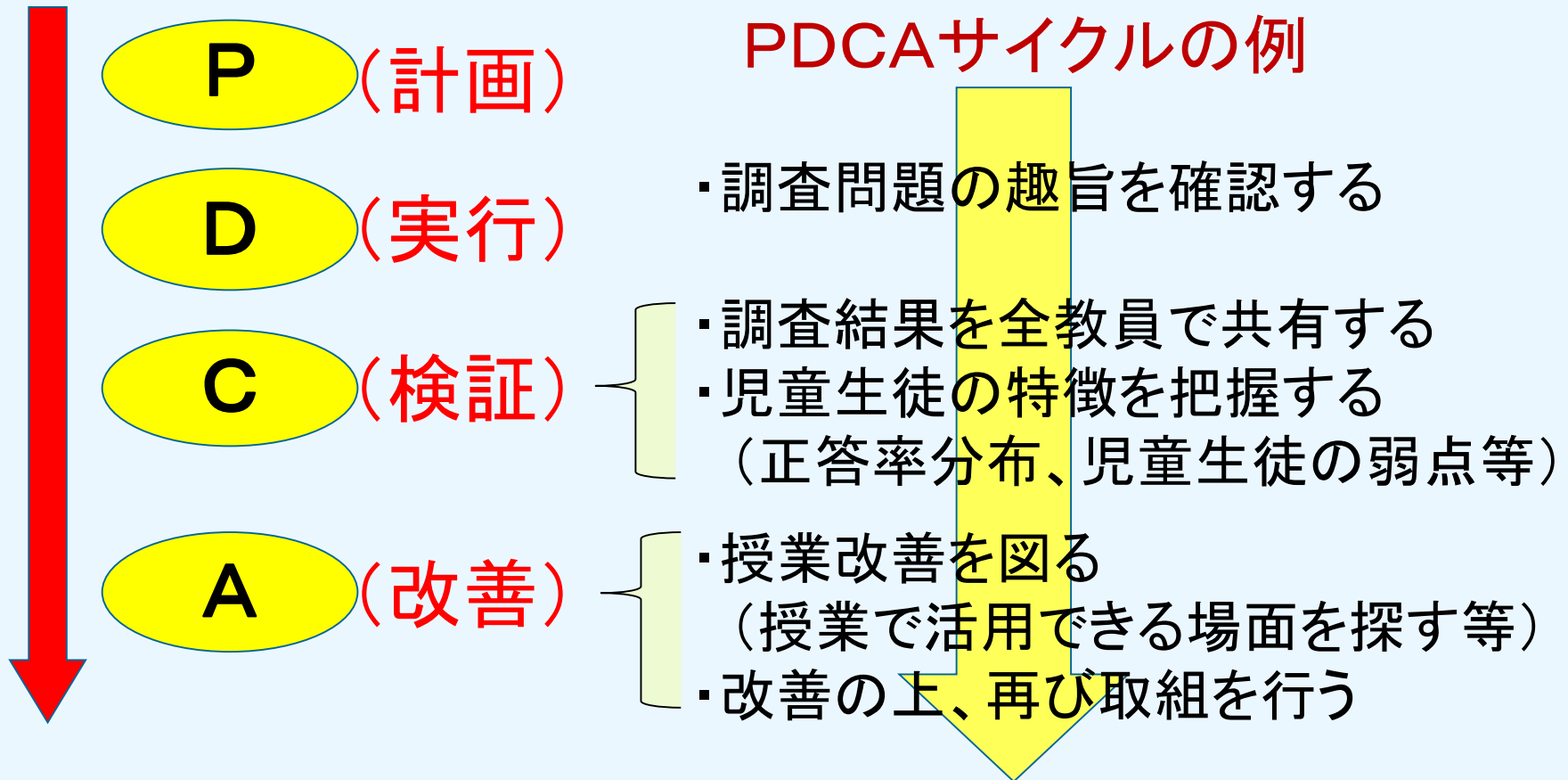
全体会での発表



全教員での研究協議

校内研修の様子

各学校におけるPDCAサイクルの短期間の実施



例えば、2学期の最後にアンケート調査を実施して効果を検証するなど、なるべく短期間にPDCAサイクルを回して次のサイクルにつなげる。

報告書の活用

出題の趣旨

国語A 1 学級文集のタイトルを決める

- 1 話し合っ「つ」まま「つ」ことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がわかってほしいことを報告している。

(問い) 野村さんはどのようなことを報告していますか。次の1から4までの中から「理由」を、その番号を書きましょう。

「た」しかし、学級の一人一人ががやくやくという意見で、「野村」がよいという意見もありました。どちらをよい意見で、「つ」ままりません。「本題」だけでなく、「理由」についても、ぜひみんな考えてほしいです。

出題の趣旨

互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうかをみる。

領域・内容 言語活動との関連

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。

出題の趣旨

互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。

解答類型と反応率

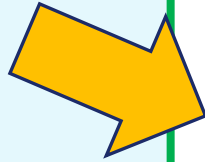
問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
1	1 と解答しているもの	7.2	◎
	2 と解答しているもの	6.3	
	3 と解答しているもの	69.3	
	4 と解答しているもの	17.0	
	9 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.1	

(平成29年度全国学力・学習状況調査 報告書 小学校国語)

研修の機会等に、各学校に送付されている報告書を活用し、先生方の共通理解と改善への方策に生かしてほしい。

単元構想シートの活用

言語活動



国語科 単元構想シート 学年 3年 教材名 「サーカスのライオン」(東京書籍3年下)

単元名 じんざになって手紙を書こう

○付けたい力

文章中の語や表現に着目して読み、ジンザの気持ちを想像して、考えたことを友達と伝え合う力

○児童の実態、実態に応じて続けてきたことなど

読書好きな児童が多く、音読活動にも工夫を凝らしながら取り組んできた。
物語を構造的に読む経験が少ない。自分の思いや考えを伝えたり、文章に表したりすることに弱さを感じる。

言語活動

男の子に手紙を書く
じんざの気持ちグラフを作る

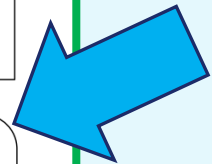
◆学習の見通しをもつ
①じんざの気持ちの変化を見ていくのに心情曲線を活用し、じんざの気持ちを深く理解した上で、じんざになりきり、男の子に手紙を書くという学習の流れをつかむ。

◆物語の中で起きた出来事確かめる。
②物語のあらすじをまとめる。
③じんざと男の子の人物像を読み取る。
④⑤⑥場面ごとのじんざの心情の変化を読み取り、気持ちグラフを書く
⑦じんざの気持ちを想像する。

◆手紙の発表会をしよう。
⑧⑨じんざになりきり、男の子へ手紙を書き、クラスで交流する。

「素敵な読書スペース」で、「動物と人間の交流、心のふれあい」を描いた作品に親しむ。

身に付けたい力



完成イメージ



付けたい力(子どもの言葉で言うと…)

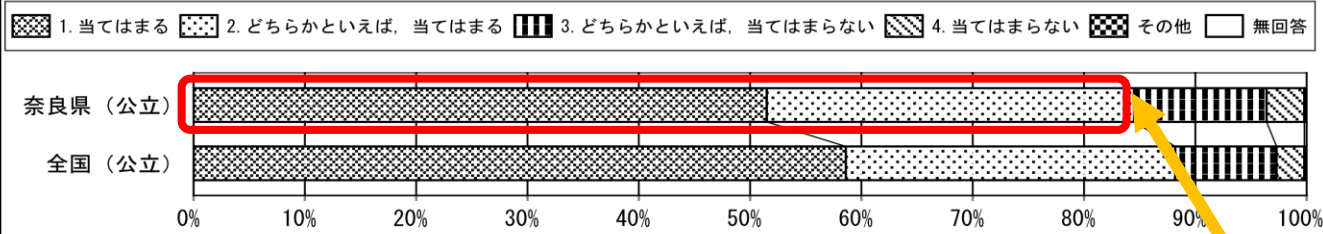
じんざの気持ちの変化を読み取ることができるようになったよ。

分析結果を授業でどのように生かすのか

○授業で目標が示されていたか、振り返る活動を行っていたか(小学校)

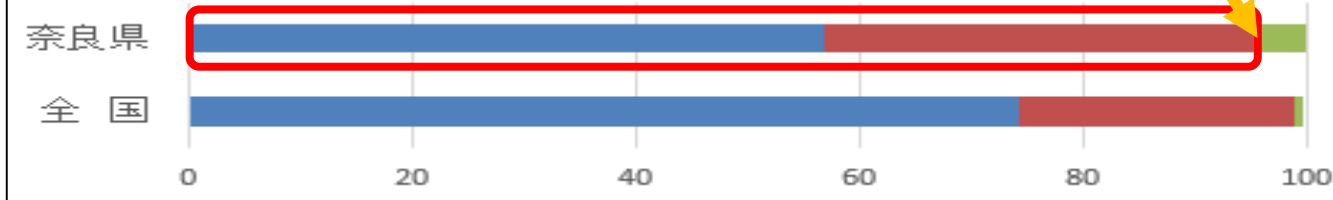
〈授業で目標(めあて・ねらい)が示されていたか〉

児童
質問紙



奈良県
84.5%

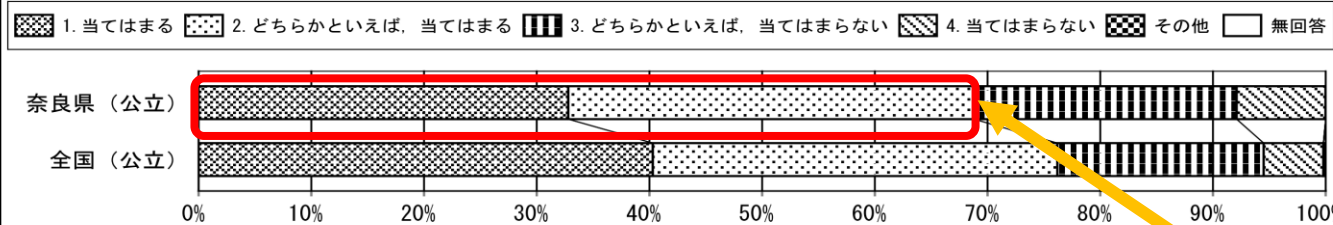
学校
質問紙



奈良県
95.4%

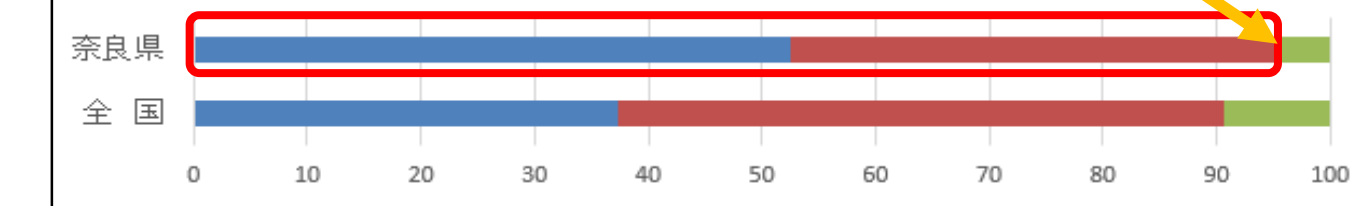
〈授業で振り返る活動をよく行っていたか〉

児童
質問紙



奈良県
68.8%

学校
質問紙



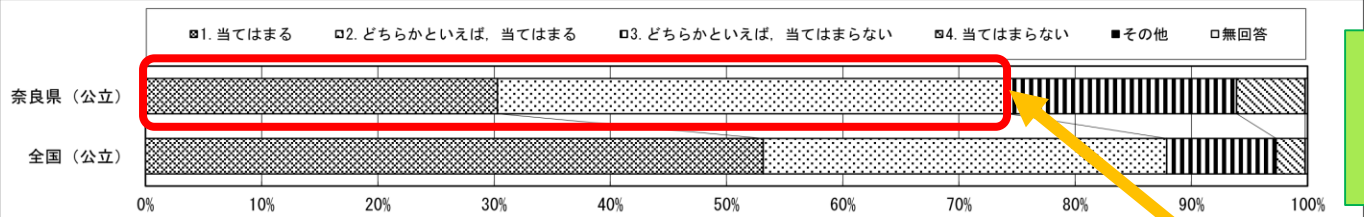
奈良県
95.4%

分析結果を授業でどのように生かすのか

○授業で目標が示されていたか、振り返る活動を行っていたか(中学校)

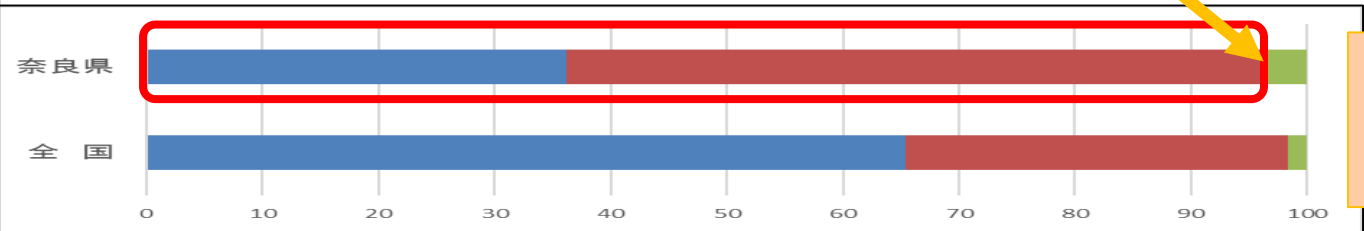
〈授業で目標(めあて・ねらい)が示されていたか〉

生徒
質問紙



奈良県
74.2%

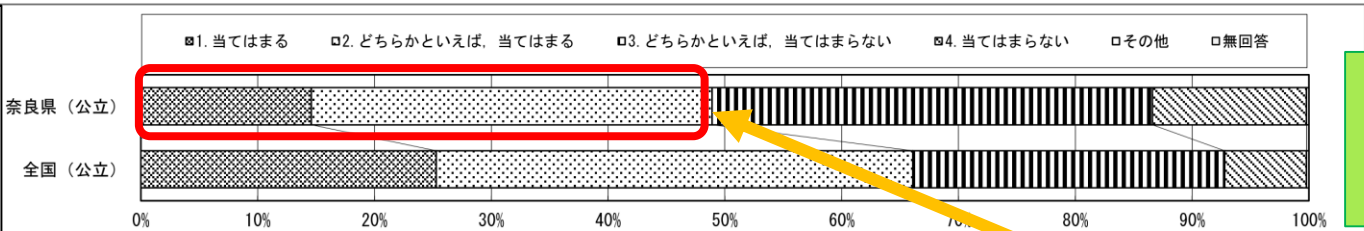
学校
質問紙



奈良県
87.8%

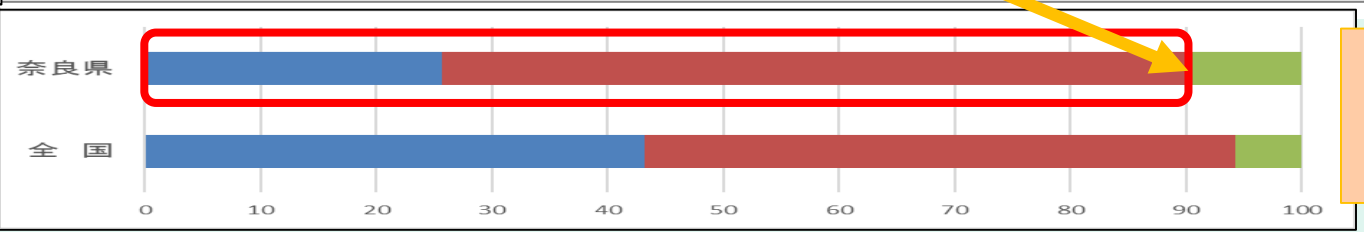
〈授業で振り返る活動をよく行っていたか〉

生徒
質問紙



奈良県
48.9%

学校
質問紙



奈良県
90.5%

○授業で目標が示されていたか、振り返る活動を行っていたか

- ① 奈良県の児童生徒の回答について、全国平均と比べて、奈良県の結果が非常に低い。
→授業改善の一つとして、毎日の授業において目標の確認と振り返りを確実に行うことが重要。
- ② 特に振り返る活動において、教員の意識と児童生徒の意識に大きなずれがある。
→教員が行う振り返りが、児童生徒に授業の振り返りとして伝わっていない状況がある。授業の目標に照らして、その授業でどこまで目標を達成できたかを具体的に振り返らせるなど、工夫が必要。

上記を踏まえた授業づくりが、全校体制で組織的・計画的に実施できるよう研修することが大切。

ゆうすげ村の小さな旅館

つけたいか
◆起きた出来事をたしかめ、人物についてそうぞうしながら読む。
◆物語のしかけにつながる言葉に気をつけて読む。

見通しをもつ

- ① 本の帯を知る。

物語から読み取ろう

へゆうすげ村の小さな旅館

- ② あらすじをまとめる。

- ④ 「しかけ」をさがす。

- ⑤ 「しかけ」が物語にどうつながっているか。



- ⑦ つばみさんのせいかく

- ⑧ 美月のせいかく

- ⑩ 一文フリーズをえらぶ。

へおすすめの本

- ③ あらすじをまとめる。

- ⑥ 「しかけ」をさがす。

- ⑨ 登場人物のせいかく

本の帯をしようかいしよう

- ⑪ グループで帯を読み合い、感想を伝える。

- ⑫ 二年生におすすめの本をしようかいする。



中学校での「調査問題を活用した研修」

B 1 文学的な文章を読む（「スコールNo. 4」）

設問三

趣旨

表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。

中学校での「調査問題を活用した研修」

〈調査で実施されていない教科において〉

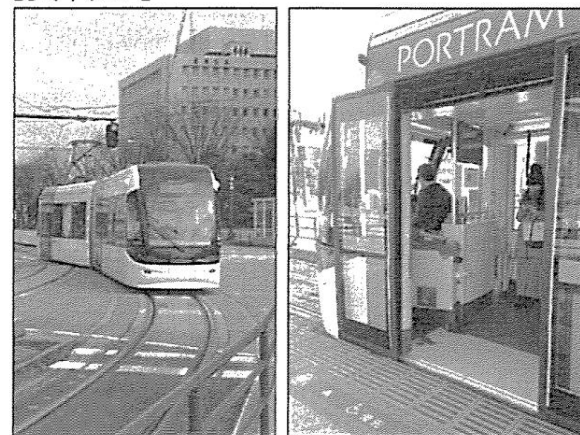
2

「地域の交通網」

(6)

- ② 資料IVは、内の〜線部として、略地図中のB県の都市で整備された路面電車とその乗降口の写真である。資料IVにみられるように、車両の床面を低くし、停留場と乗降口の高さをそろえ、車両内部の段差をなくすなどの工夫をすることで、どのようなまちづくりができると考えられるか。簡潔に書け。

[資料IV]



(平成29年度奈良県公立高等学校入学者一般選抜学力検査問題 社会)

「求められている力」

= 社会科における知識 + 自分の考えを根拠を明確にして書く力

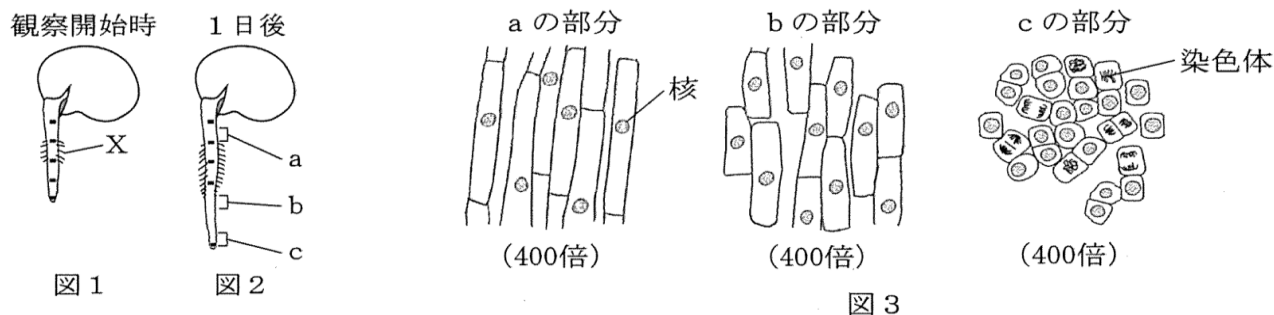
3. 全教員で行う研修の体制づくりについて

中学校での「調査問題を活用した研修」

〈調査で実施されていない教科において〉

2 植物の根の成長について調べるため、エンドウの種子を用いて次の観察を行った。各問いに答えよ。

観察 エンドウの種子を水に浸して発芽させた。発芽して1 cmぐらいにのびた根に図1のように5つの印をつけ、その後の成長の様子を調べた。1日後、図2のようになった根のa～cの各部分をカッターナイフで切り取って、それぞれ下の□内の手順①～④でプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。図3は、そのときのスケッチである。



(4) この観察の結果から、植物の根はどのようなしくみで成長すると考えられるか。簡潔に書け。

(平成29年度奈良県公立高等学校入学者一般選抜学力検査問題 理科)

「求められている力」

＝ 理科における知識 ＋ 自分の考えを根拠を明確にして書く力

まなびー奈良

CONTENTS

トップページ TOP PAGE

活用方法

各種データ DATA

研究会等活動報告

まなびー奈良では、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を育むため一つの方法として各種問題や授業モデルの動画を配信し、学力向上の支援をしています。

ユーザー名 ouen
パスワード ouen01

問題編

学力・学習状況調査の調査結果から明らかになった課題に関する問題がダウンロードでき、ダウンロードしたい教科をクリックしてください。

→小学校国語

→小学校算数

→小学校理科

→中学校国語

→中学校数学

→中学校理科

全国学力・学習状況調査

学力向上のための取組

各種ダウンロード

指導案例

問題に対する解答がダウンロードできます。ダウンロードしたい教科をクリックしてください。

〈学校全体で行う研修体制の確立のために〉

- ①児童生徒の現状の分析と全教員での情報共有
- ②分析結果を授業でどのように生かすのか

自校で行っている研修

研修の内容

研修の回数

研修の持ち方